

猪名川上流広域ごみ処理施設組合

森の泉

<編集・発行>

猪名川上流広域ごみ処理施設組合
事務局総務課

〒666-8501

兵庫県川西市中央町12番1号 川西市役所内

電話：072-740-1237 (直通)

072-740-1238 (FAX)

http://www.morinoizumi.or.jp/

平成18年1月15日

No.10



新処理施設

親しまれる建物に 建物外観イメージ決まる！

—平成17年11月8日の組合議会議員総会において—

建物外観

新たに建設するごみ処理施設は、自然と技術が共生する循環型社会の象徴として、地域や社会に新しい価値を提供し、循環型社会に関してその重要性を発信していく場であろうと考えています。

このため、建物の外観イメージは、周辺環境と調和しながら、建物高さを極力軽減し、従来のごみ処理施設をイメージさせない斬新的な魅力を有し、この地の自然とともに住民に親しまれる施設を建設していきます。イメージのコンセプトは、「ナチュラル(自然な・のどかな)・クリア(うるおいある・さわやかな)」として表現しています。イメージ図は、左より管理棟、リサイクルプラザ棟、焼却施設棟となっており、煙突は建物に取り入れ、施設と一体感を持たせています。リサイクルプラザ棟及び焼却施設棟の屋根は、建物全体のボリューム感に対して、周辺の山並みに合うよう円弧を描いたやわらかなデザインとし、建物全体がさわやかな洋風のイメージを醸し出す外観で、色合い

は四季折々に変化する周辺環境に調和するよう配慮しています。

また、施設の低層部に屋上庭園を配するとともに、建物下部に壁面緑化を取り入れたうるおいのある建物としています。

今後、イメージ図を基に、色調、詳細部分等を調整し、よりよい建物デザインをまとめる予定です。

今年の事業の進捗

平成18年は、引き続き土地造成工事及び橋梁新設工事を行い、本年中に完成する見込です。

また、ごみ処理施設建設工事は、建物の詳細設計に取り組んでおり、本年から建物の工事に着手するとともに、プラント機械設備の工場製作を進めていきます。

橋梁と造成工事

ごみ処理施設への進入のため、県道野間出野一庫線と対岸の市道1447号を結ぶ橋梁として、長さ35・7m、幅員10m(2車線片側歩道)の新設工事を8月の完成をめざして施工しています。工事中は片側通行等道路規制を実施していますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

土地造成工事は、造成区域内3ヶ所の調整池の設置工事を進めており、調整池での沈砂池容量が確保されたのち、本格的な切盛土の造成に取り組み、11月の完成をめざし施工していきます。

環境保全委員会

環境保全委員会は、「排出負荷及び周辺環境状況調査計画の決定、その調査結果に関すること及び施設稼動状況の監視に関すること」を任務として学識経験者、周辺地域住民代表、1市3町区域住民代表、行政関係者による構成メンバーで平成17年6月9日の第1回委員会から始まり、平成17年中には3回開催しました。

工事施工中の委員会では、環境影響評価の事後調査項目等を決定し、それに基づき事後調査結果の分析や、造成工事に伴う発破工法等の議論を行ってまいります。

試験発破について

環境保全委員会での発破工法等の意見や議論をふまえ、昨年12月20日に騒音等測定のための試験発破(硝安油剤爆薬を使用)を行いました。測定結果は、予測された騒音、振動、低周波音の数値を下まわりました。

今後は、この試験で得られた各種の測定結果を基に、当該委員会の中の意見を踏まえながら、発破工法の採用を検討してまいります。

平成20年春からの稼働をめざし

ごみ処理施設の建設に当たっては、住民の皆様や議会での会議等を数多く行い、新施設からの排出ガス基準等については、厳しい基準値を設定し、世界に誇れる施設の完成に向けて取り組んでいます。